

第4回 医生物学フォーラム

平成7年(1995年)6月10日

熊本大学医学部楷樹会館

■フォーラム

●テーマ

自己免疫疾患の医生物学

●世話人挨拶

高月 清

●ワークショップ

総合司会: 淀井 淳司

HLA-ペプチド相互作用と自己免疫

演者: 松下 祥(熊本大学・医・免疫識別学)

司会: 石川 哮(熊本大学耳鼻咽喉科)

討論: 松岡 雅雄(熊本大学第二内科)

IL-2 受容体を介した異常シグナルは生体に何をもたらすか?

演者: 田中 稔之(大阪大学・医・臓器制御学)

司会: 高林 有道(医学研究所北野病院)

討論: 服部 俊夫(京都大学ウイルス研究所)

自己免疫疾患におけるT細胞のクロナリティ

演者: 山本 一彦(九州大学・生体防御医学研)

司会: 阪口 薫雄(鳥取大学免疫学)

討論: 西村 泰治(熊本大学免疫識別学)

HTLV-I 感染症のラットモデルトランスジェニックラットを中心に

演者: 吉木 敬(北海道大学・医・病理学第一)

司会: 山口 一成(熊本大学輸血部)

討論: 丸山 征郎(鹿児島大学臨床検査)

●総括

高月 清